

問一（二五点）

【採点のポイント】

- ・ 本文の内容を理解できていること。
- ・ 要点がまとめられていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。

【解答例】

現在の生活に対する不満や不安の原因を、実際の因果関係を検討することなく、他者のせいにするのが排外主義の広がる理由と著者は認識している。不満のはけ口は、他者に対する具体的な認識ではなく、あらかじめ持っている一般的なイメージにもとづいた「空想」によって形成されるため、自分と異なる者を把握し、再構成する働きである「想像」について扱う文学研究が、他者への認識を改める上で役に立ちうると著者は考えている。（200字）

問二（七五点）

【出題の意図】

文学と社会との関わりは、日本語日本文学専攻に入学した学生にとっては常に意識すべき問題となる。本文では、近年の排外主義の高まりを取りあげ、文学研究者がどのように社会に関わることができるのかを問題としている。こうした問題意識を本文から読み取り、自分の意見を論理的に表現できるかどうかを問うものである。

【採点のポイント】

- ・ 筆者が述べている問題意識をふまえ、それに対して、具体例を挙げて自分の意見が論理的に述べられていること。
- ・ 段落わけなど文章の構成がきちんとしていること。
- ・ 文章表現のきまりに基本的に則していること。